

船舶事故等調査報告書

平成24年1月26日

運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2011函第28号	
事故等種類	衝突	
発生日時	平成23年4月12日 05時30分ごろ	
発生場所	北海道苫小牧市苫小牧港（西港）内 苫小牧港漁港区南防波堤灯台から真方位160° 2.0海里付近 （概位 北緯42° 35.7′ 東経141° 38.1′）	
事故等調査の経過	平成23年7月12日、本事故の調査を担当する主管調査官（函館事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報	<p>船種船名、総トン数 船種船名、総トン数 船種船名、総トン数</p> <p>A 漁船 第七十五<sup>りゅうぼう</sup>隆宝丸、9.7トン HK2-21726（漁船登録番号）、個人所有</p> <p>B 不詳</p>	
乗組員等に関する情報	<p>A 船長A、一級小型船舶操縦士・特殊小型船舶操縦士・特定</p> <p>B 不詳</p>	
死傷者等	<p>A なし</p> <p>B 不詳</p>	
損傷	<p>A 左舷船首部に亀裂等</p> <p>B 不詳</p>	
事故等の経過	<p>A船は、船長Aほか4人が乗り組み、苫小牧港（西港）において、漁場移動のため、自動操舵により約8ノットの速力で北西進中、単独で操船中の船長Aが、椅子に腰を掛けて操船を続けていたところ、居眠りに陥り、平成23年4月12日05時30分ごろ錨泊中のB船の右舷船首部とA船の左舷船首部が衝突した。</p> <p>船長Aは、衝突して初めてB船の存在に気付いた。</p> <p>船長Aは、衝突後しばらく付近で停留していたが、損傷が軽微であったこと、及びB船から何らの反応がなかったことから、現場を離れて操業に向かった。</p>	
気象・海象	<p>気象：天気 晴れ、風向 北東、風力 4、視界 良好</p> <p>海象：波高 約1m</p> <p>日出時刻（発生場所）：04時58分</p>	
その他の事項	<p>船長Aは、平素、睡眠時間が十分でなかった。</p> <p>苫小牧港（西港）には、平素、貨物船やフェリーなどの入港待機船が錨泊していた。</p> <p>船長Aは、B船の船名等を確認せず、海上保安部もペイント鑑定を行ったが、B船を特定することができなかった。</p>	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	<p>A あり、B 不明</p> <p>A なし、B 不明</p> <p>A なし、B なし</p> <p>A船は、苫小牧港（西港）において自動操舵により北西進中、単独で操船中の船長Aが、椅子に腰を掛けて操船を続けていたところ、居眠りに陥</p>

		ったことから、錨泊中のB船に向けて航行を続け、B船と衝突したものと考えられる。
原因	本事故は、A船が、苫小牧港（西港）において自動操舵により北西進中、単独で操船中の船長Aが、椅子に腰を掛けて操船を続けていたところ、居眠りに陥ったため、錨泊中のB船に向けて航行を続け、B船と衝突したことにより発生したものと考えられる。	